

Asahi SuperReport

わたしたちの“今”を皆様にお伝えします
アサヒスーパーレポート

平成17年秋号 第82期中間事業報告書 平成17年1月1日～平成17年6月30日

“Challenge”

^{SUPER}
“DRY”



アサヒ新生

おかげさまで
大好評!



「CSRレポート
2005」発行

アサヒ酵母ナンバー 新発売



シルバースター
パールボウル
準優勝



Asahi

ごあいさつ	2	アサヒビールの履歴書	17
この3カ月の取り組み	3	アサヒビールグループ業績のご報告	18
社長インタビュー	4	財務諸表	20
ヨーロッパからのホットなニュース	7	アサヒふれあい広場	24
アサヒNews Flash	8	会社概要／株式の状況	26
チャレンジ! スーパードライ	12	株主メモ	27
新商品トピックス	14	株主の皆様へお知らせ	裏表紙

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃よりアサヒビールグループに格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

アサヒビールグループは、「最高の品質と心のこもった行動を通じて、お客様の満足を目指し、世界の人々の健康で豊かな社会の実現に貢献する」をグループ共通の経営理念として、すべてのステークホルダーの皆様にご満足いただける企業グループを目指しております。また、平成16年から平成18年までの3カ年の第2次グループ中期経営計画においては、「成長性溢れる新しいアサヒビールグループに向けて、お客様の満足の徹底、事業構造の変革、革新を賞賛する企業風土を追求し、“活き活き挑戦企業”を実現する」という中期ビジョンを掲げております。

第2次グループ中期経営計画の2年目にあたる本年は、最重点課題として、「国内酒類事業の新たな成長」「グループ事業の新たな成長」「世界に向けた新たな成長」の“3つの成長”に挑戦しております。



アサヒビール株式会社
代表取締役会長

福地 茂雄

代表取締役社長

池田 弘一

今後も中期経営計画の目標の確実な達成に向けて、グループ一丸となって取り組みを強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成17年9月

この3カ月の取り組み

Quarter Year Summary

4月

20日 「アサヒ新生」新発売

5月

3日 「アサヒビール アネックスビル」グランドオープン

11日 (株)エルビー・埼玉の株式取得

18日 (株)セブン・イレブン・ジャパンとの共同開発商品
「アサヒ 八年貯蔵梅酒」新発売

18日 本格麦焼酎「豊醇玄海」4ℓ、2.7ℓペットボトル新発売

19日 オーストラリアワインブランド「ローズマウント・エステート」の日本での販売権取得

25日 「アサヒ新爽感チューハイ Dew(デュー)」新発売

25日 「未成年者飲酒予防基金」平成17年度助成対象決定

28日 「MTV THE SUPER DRY LIVE 2005」開催



6月

4日 「アサヒ・アート・コラボレーション」第6弾開催

4日 ニッカを味わうイベント開催

25日 「ASAHI SUMMER GIFT 2005」新発売

10日 「ASAHI SUMMER GIFT 2005」新発売

23日 「SUPER DRY B-JAM」Zepp東京で開催

29日 アサヒスーパードライ「つくばエクスプレス」新発売

30日 アサヒビールグループ「CSRレポート2005」発行



「アサヒ新生」 発売から約3カ月で750万箱突破!

新素材「大豆ペプチド」と独自の「スーパードライ酵母」に加え、新製法「新生高発酵製法」を導入。“キリッとした新しいのどごし”を実現した「アサヒ新生」。多くのお客様からご支持をいただき、4月20日の発売から約3カ月の7月末までに750万箱※を突破しました。

※ 1箱は大びんで20本換算



お酒と食を楽しむ新空間 「アサヒビール アネックスビル」 グランドオープン

「アサヒビール アネックスビル」が、“酒文化・食文化の新しい発見を提供するアサヒビールグループの情報発信拠点”としてリニューアル。お客様の目的や気分に応じて使い分けいただける4業態の飲食店がオープンしました。皆様のご来店をお待ちしています。

アサヒビール アネックスビルの情報はこちらから。
<http://www.asahi-annex.com/>



アサヒスーパードライ 「つくばエクスプレス」新発売

つくばエクスプレス開業を記念し、つくばエクスプレスの車体などをデザインしたアサヒスーパードライ「つくばエクスプレス」を沿線20駅周辺地域で6月29日に新発売。

つくばエクスプレス「守谷駅」からはアサヒビール茨城工場も近く、沿線地域の盛り上げに貢献していきます。

アサヒビール茨城工場についての情報はこちらから。
<http://www.asahibeer.co.jp/brewery/ibaraki/index.html>



2年目の上半期は連結で増収。 当期純利益は過去最高を目指します。

アサヒビール株式会社 代表取締役社長 池田 弘一



Q はじめに、第2次グループ 中期経営計画2年目の中間決算の 総括をお願いします。

売上高では、アサヒビール(株)単体では減収でしたが、連結では、アサヒ飲料(株)の大幅な増収をはじめとするグループの中核事業が好調であったことに加え、M&Aの成果などにより、6,566億円と前年同期比1.3%の増収となりました。

営業利益は、グループ事業では中期計画で掲げた収益構造の改革の成果により増益となったものの、アサヒビール(株)単体の減益幅が大きく、連結では前年同期比18.2%減の308億円となりました。

経常利益は、中国の持分法適用会社の貢献もありましたが、連結では前年同期比11.6%減の319億円となりました。

中間純利益は、単体では減益でしたが、連結では、不動産売却益などの特別利益の計上により、過去最高の190億円となりました。

Q 本年の事業方針である 「“3つの成長”への挑戦」の 進捗状況はいかがですか。

まず、国内酒類事業からお話ししましょう。ビールでは、ビール回帰の流れを促進することを最優先課題として取り組み、また一方で発泡酒・雑酒市場では、お客様の嗜好の多様化にお応えする市場創造型の新商品を投入することで、売上拡大を目指しています。上半期の進捗としては、ビールは市場の低迷により計画に届きませんでしたが、発泡酒・雑酒合計の販売数量は、予算を達成しています。

次に、グループ事業では、アサヒ飲料(株)が、平成15年秋以降顕著になった売上の増加傾向を確実にものとし、販売数量は飲料業界全体での平均を上回る12%の成長を達成しました。「ワンダ」や「三ツ矢サイダー」などの既存ブランドの成長に加え、新商品も好調に推移しています。

食品・薬品事業では、アサヒフードアンドヘルスケア(株)が、「ミンティア」などの売上を大きく伸長させるとともに、2年目を迎えたダイレクトマーケティング事業の売上拡大などにより、収益性を改善しました。

海外事業では、重点地域である中国において、本年1月に北京市に「中国事業本部」を新設し、既存事業の強化と新たな成長基盤の構築に取り組んでいます。最大の課題であった北京啤酒朝日有限公司においては、業務改革の成果がスタート、2008年の北京オリンピック開催に向けて事業基盤を固めつつあります。

Q 酒類事業の 今後の取り組みについて 聞かせてください。

ビールについては、「アサヒスーパードライ」のポテンシャルを最大限発揮する活動・施策を継続します。具体的には、上半期同様“鮮度”と“うまい樽生”に関する施策を中心に取り組みを強化します。発泡酒では、“飲みごたえ”の新提案、「アサヒ本生ゴールド」をはじめとする、本生ブランドそれぞれの個性を明確に訴求することで、本生ブランドの強化に注力します。新ジャンル「アサヒ^{しんなま}新生」については、認知度を向上させるための施策を実施し、売上目標の達成を目指します。

続いて総合酒類部門では、焼酎については、上半期に引き続き、「かのか」を強化し、ビッグブランドに育成します。

低アルコール飲料については、缶入りカクテルで圧倒的なブランド力を持つ「カクテルパートナー」の強化を柱に、「旬果搾り」、新商品「Dew(デュー)」などで目標の達成を目指します。

洋酒では、家庭用の「ブラックニッカ クリアブレンド」、業務用の「竹鶴」をさらに強化すると同時に、世界的にも評価の高いニッカの“モルト”を活かしたマーケティングも展開します。

ワインでは、国産の「サントネージュワイン」のブランド力向上を図り、輸入ワインでは「カリテラ」「ガンチア」に加え、「ローズマウント」で売上の拡大を目指します。

Q 通期の業績見通しはいかがですか。

売上高については、アサヒビール(株)単体では減収となる見込みですが、アサヒ飲料(株)はじめグループ各社の年初計画を上回る増収により、連結では前期比0.7%増加の1兆4,550億円を目指します。

営業利益についても、アサヒビール(株)単体の減益をアサヒ飲料(株)、アサヒフードアンドヘルスケア(株)などのグループ中核事業の増益でカバーし、連結では1,015億円と増益を目指します。

経常利益では、連結で前期比3%増加の985億円、当期純利益では、過去最高の連結410億円を目指します。

Q 株主還元についてお聞かせください。

中期経営計画では、配当と自己株式の取得を中心に、株主還元の充実を図っていく方針を掲げています。昨年は、1株あたり2円の増配を実施して、年間15円の配当とし、また、599万株(取得価額68億円)の自己株式を取得するなど、業績に見合った株主還元の充実を図りました。

今後の配当方針としては、連結配当性向で20%以上を目処として、業績の達成度合に応じて増配を目

指していきたいと考えています。

また、本年は8月に、これまで取得してきた自己株式のうち、2,000万株を消却しました。自己株式消却の実施は、多くの投資家の皆様の期待に応える株主還元と捉えています。

Q 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします。

本年アサヒビールグループは、中期計画の最終目標の達成を目指して、“3つの成長”を通じた将来につながる事業基盤を固めると同時に、フリーキャッシュフローを有効に活用し、さらなる企業価値の向上に努めていきます。株主の皆様には、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



イギリスで、
スーパードライの現地生産を開始

パブの本場で 「アサヒスーパードライ」の 樽ビールの拡販を強化

アサヒビール(株)では、本年9月からイギリスで最も歴史のある(1698年創業)ビール会社であるシェパード・ニーム社に生産を委託し、「アサヒスーパードライ」3品種(樽30ℓ、びん330ml、びん500ml)を主にイギリス市場向けに供給します。販売はアサヒビール・ヨーロッパ社が行います。

イギリスにおいて「アサヒスーパードライ」は、ファッション性の高いトップ・エンド・プレミアムビール※1として、業務用・量販用のびん商品の取り扱いが進み、昨年は25万ケース※2を販売。アサヒビール(株)にとってヨーロッパ最大の販売国となっています。ヨーロッパ市場では、すでにチェコのスタロップラーメン社に現地生産を委託していますが、今回の提携によって、“パブの本場”として業務用樽ビールの飲用比率が高いイギリスで、本格的にスーパードライ樽ビールの拡販を進めます。またスタロップラーメン社は、フランス、ドイツ、イタリアなどの西欧向けの生産拠点とともに、ロシアや東欧諸国への供給拠点として位置づけられます。アサヒビール(株)は、こうした取り組みによってヨーロッパ全体での販売量を2008年に100万ケース(昨年比1.8倍)にまで引き上げ、アジアのビールとして最大のプレゼンス獲得を目指します。

※1 海外ブランドを中心としたプレミアムビールのなかでも最も高い価格帯の商品
※2 1ケースは350mlで24本換算



シェパード・ニーム社の概要

社名:Shepherd Neame Limited
所在地:イギリス ケント州ファーヴァシャム
経営者:
Robert H B Neame Chairman
Jonathan B Neame Chief Executive
創業:1698年

自社ブランドのビールの製造販売に加え、ヨーロッパ他国のビールブランドをライセンス・委託生産するなど、高い技術水準を有している。他ビール会社との提携によって全英に配送網を持つほか、ビール事業以外にホテル事業や、370店を有するパブ事業を行っている。

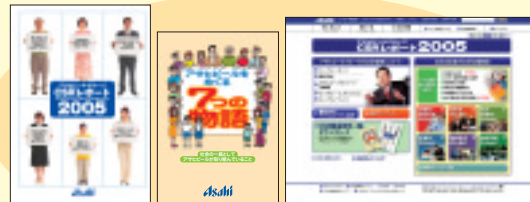
アサヒ News Flash

「健康で豊かな社会の実現に貢献します」
この経営理念のもと、アサヒビールグループは、
さまざまな活動を行っています。

「CSRレポート2005」発行

本年7月8日、アサヒビールグループのCSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) 経営の具体的な取り組みをまとめた「CSRレポート」を昨年に続いて発行しました。

CSRレポートでは、CSR活動の全体像と個別の具体的な活動を、消費者の皆様や株主様、お取引先など、ステークホルダー※の関心事項ごとに分類し、主要なパフォーマンスデータを交えて報告しています。また、昨年掲げた「6つの優先取り組み項目」の進捗を特集として取り上げ、そのなかでもアサヒビールグループが重視する「品質の追求」や「適正飲酒の啓発活動」について詳しく報告しています。



<http://www.asahibeer.co.jp/csr2005/>

今回は特に、CSR活動を報告するホームページを充実させ、より詳細なパフォーマンスデータを掲載。専門家の方々のニーズに配慮しました。

また、一般読者の方々に対しては、「アサヒビールをめぐる7つの物語」と題する小冊子を作成。平易な文章やイラストを用いることで、アサヒビールグループのCSR活動をご家族で楽しみながら読んでいただけるよう工夫しました。

アサヒビール(株)では、こうした情報開示を通じて、ステークホルダーの方々との積極的なコミュニケーションを目指しています。

※ 企業を取り巻くあらゆる利害関係を持つ人(社員、消費者の皆様、お取引先、株主様、地域社会など)のこと

環境活動

アサヒビール環境基金「水の惑星」から 社団法人国土緑化推進機構に寄付金を贈呈

アサヒビールの「うまい!」をつくりだす「水」そのものや、水を育む「緑」を守る活動を支援することを目的にアサヒビール環境基金「水の惑星」は昨年設立されました。株主の皆様は優待品に代えてご参加いただくこともできます。本年度上半期は、株主優待分とお客様・社員の寄付金に、アサヒビール(株)からの拠出金を加えた約1,168万円を社団法人国土緑化推進機構に寄付しました。



写真は、第1回アサヒの森づくり
名古屋ブロック水源地利保活動

研究開発

「バナジウム含有天然水」の 糖尿病改善効果を確認

アサヒ飲料(株)は、アサヒビール(株)、日本薬科大学※1、東京医科大学※2との共同研究のなかで、富士山の裾野から採水したバナジウム(ミネラルの一種)を含有した天然水の糖尿病改善効果と、長期間継続摂取しても高い安全性を有することを確認。この研究成果を、「第16回日本微量元素学会」(本年6月30日～7月1日)で発表しました。富士山の裾野から採水したバナジウム含有天然水は、飲料水としてだけでなく、食事の材料としても利用できることから、今後さらに研究を進めることで食生活を通じた生活習慣病の予防や改善への貢献が期待されます。

※1 医療薬学科・渡辺泰雄教授

※2 解剖学第二・白間一彦教授、動物実験センター・川本英一センター長ほか



アサヒ飲料(株)富士山のバナジウム天然水 2ℓ



写真は、書籍「Symbol of Happiness〜しあわせのシンボル〜」(講談社刊)

「お客様生活文化研究所」が、 ホームパーティー、父の日、 幸せ意識について調査

アサヒビール(株)お客様生活文化研究所は、人々の楽しく、心豊かな生活文化の創造に役立つよう、さまざまな調査を行っています。本年4月下旬に実施したホームパーティーに関する調査では、半数以上の方が年に数回ホームパーティーに参加することがわかりました。5月下旬の「父の日」に関する調査では、お父さんの採点をしてもらい、平均点は70.7点という結果が出ました。また「幸せ意識6ヶ国比較調査※」を実施し、いずれの国でも7割以上の方が幸せと感じていることがわかりました。今回の調査内容などがまとめられた書籍「Symbol of Happiness〜しあわせのシンボル〜」(講談社刊)は全国書店で販売されています。

※ 日本、中国、アメリカ、イギリス、スウェーデン、イタリア

文化・スポーツ支援

アサヒビール☆シルバースター 「パールボウル」準優勝

本年6月30日、アメリカンフットボール「第30回パールボウル」決勝にアサヒビール☆シルバースターが8年ぶり2回目の出場を果たし、オービックシーガルズと対戦。シーガルズに先制点を挙げられたシルバースターは果敢に追撃したものの、堅いディフェンスに阻まれ、27-2のスコアで残念ながら敗れ準優勝となりました。



秋期Xリーグも始まっています。今後もシルバースターへの応援をよろしくお願いします。

「アサヒ・アート・フェスティバル 2005」開催

アサヒビール(株)の企業メセナ活動の集大成である市民参加型のイベント「アサヒ・アート・フェスティバル(AAF)」を、本年も芸術系NPOや市民グループなどと協働で7月1日～9月30日まで開催しています。本年7月4日には、アサヒビールロビーコンサートin AAFを開催。「＜広場＞のロビーコンサートまつり～坂田明と『役立たず』のあり方について／その3～」と題し、東京・吾妻橋のアサヒビール本部ビル1階ロビーを＜広場＞に見立て、サクソ奏者の坂田 明さんや他のアーティストがお客様と＜広場＞を音楽空間として共有しました。



アサヒ・アート・コラボレーション「^{うらかた}大凶かえって吉の兆」開催

財団法人アサヒビール芸術文化財団は、アサヒ・アート・コラボレーション「^{うらかた}大凶かえって吉の兆——おみくじプロジェクト:岩井成昭版」を本年6月4日～7月3日に東京都墨田区役所のすみだリバーサイドホール・ギャラリーで開催。6回目となる今回は、現代美術家の岩井成昭さんが、アートを通して現代のおみくじ考に挑むユニークな企画で、7月1日からのアサヒ・アート・フェスティバルのプレイイベントとして開催しました。



社会貢献

「KIDS絵画教室」開催

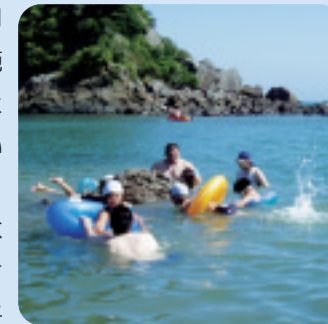
“人の心を表す”といわれる絵画によって子供たちを心理面からケアすることを目的としたボランティアプロジェクト「KIDS絵画教室」を、本年6月25日に東京都杉並区の救世軍世光寮で生活する2歳から12歳までの子供たちを対象に開催しました。今回も児童絵画の先生とともに、子供たちのお絵描きを楽しくサポートしました。



写真は、昨年のKIDS絵画教室

「2005年第2回 関東KIDSプロジェクト」開催

「関東キッズプロジェクト」は、「施設で暮らす子供たちと一緒に楽しい思い出をつくろう」「施設以外ではなかなか大人と接する機会のない子供たちに社会性を身につけてもらおう」との思いから始まったボランティア活動です。8月20日・21日には、東京都杉並区の救世軍世光寮の子供たちを千葉県鴨川市に招待。海水浴やキャンプファイヤーなど、子供たちに夏休みの楽しい思い出をプレゼントしました。



「イルカKIDSプロジェクト」開催

「イルカKIDSプロジェクト」は、野外活動を通じた子供同士や子供と大人の交流を目的に、イルカKIDS実行委員会※が主催しているボランティア活動です。本年8月5日～7日に和歌山県大地町で開催したプロジェクトには、兵庫県神戸市、新潟県、和歌山県大地町の子供たちが参加しました。ボランティアの社員も、ウォークラリーやイルカに触れるプログラムなどで子供たちとの貴重な時間を過ごすことができました。

※ アサヒビール(株)、三井住友海上火災保険(株)、旬ベルテンポ・トラベルが主催



“Challenge” “SUPER DRY”

お客様がビールに対して真に望むことの実現——
これこそが「アサヒスーパードライ」の挑戦である。
アサヒビールは、この考えのもと「スーパードライ」の
さらなるブランド力強化に向けさまざまな施策を展開しています。



樽生ビールのプロは毎日実践しています。 「うまい!」樽生の5原則

アサヒビールでは、スーパードライのブランド力強化とビール復権を目指し、
飲食店様での樽生ビールの品質向上に取り組んでいます。
今回は“「うまい!」樽生の5原則”をご紹介します。

1 適正な樽の管理

3日に1本を目安に
樽サイズを選定し、
必ず30℃以下で
使用する。

2 正しい生器具の取扱い

樽、炭酸ガスボンベ、
ディスペンサーの
セッティングや
交換に注意を払う。

3 適正な炭酸ガスの管理

炭酸ガス圧力に
気を配る。

樽生ビールのプロはこの5原則を毎日実践しています。
「うまい!」樽生を皆様もぜひ味わってください!

4 ジョッキへの上手な注ぎ方

ジョッキ角度の調整や
ディスペンサーのレバー操作を
絶妙に調整する。

5 ビールの回路・ジョッキの洗浄

ディスペンサー、
ジョッキを清潔に保つ。



アサヒビールの全社員は
胸にこの「うまい!」樽生バッ
ジをつけています。

「うまい!」樽生にチャレンジする飲食店様を紹介するウェブサイトを開設

経営者様や店長様にご登場いただき、「うまい!」樽生実現に向けた抱負や具体的な取り組み
を語っていただくウェブサイトを開設。第一弾として「酔虎伝」「八剣伝」などを展開し、独自の
ピアマスター資格制度などを実践しているマルシェ様にご登場していただいています。

URL <http://www.asahibeer.co.jp/umadaru/challenge/index.html>

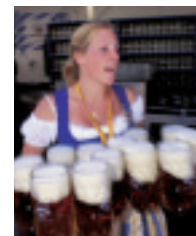


「うまい!」樽生をより多くの皆様に実感していただくために——

「東京 オクトーバーフェスト」に特別協賛

アサヒビールは、東京・日比谷公園（本年9月21日～24日）と神宮外苑絵画館前
（9月28日～10月2日）で開催される「日本におけるドイツ年」のイベント「東京
オクトーバーフェスト」に特別協賛します。

ドイツ・ミュンヘンで行われる世界最大のビール祭り「オクトー
バーフェスト」の楽しさと賑わいを伝える「東京 オクトーバー
フェスト」では、日本を代表するビール「アサヒスーパードライ」
や、ドイツビールとして国内で唯一アサヒビールがライセンス
生産する「レーベンプロイ」のほか、ドイツを代表するビール
もご堪能していただけます。皆様のご来場をお待ちしています。



写真はイメージです。

「東京 オクトーバーフェスト」の概要

日比谷公園会場

会期:平成17年9月21日～24日

開催時間:21日・22日 17:30～23:00
23日・24日 12:00～20:00

お問い合わせ先:03-5775-3251

神宮外苑絵画館前会場

会期:平成17年9月28日～10月2日

開催時間:11:00～21:00

お問い合わせ先:03-5413-0295

工場で個人投資家様向け会社説明会を開催

アサヒビールは本年6月24日～7月15日にかけて、全国のビー
ル工場のうち5工場において地方では初めての個人投資家様
向け会社説明会を開催しました。

当日は、個人投資家様にさらなる鮮度向上に向け厳しい品質
管理が行われている「アサヒスーパードライ」などの生産現場
を見学していただき、アサヒビールへのご理解を深めていた
だきました。会社説明会終了後の試飲会では、アサヒビールが
取り組む「うまい!」樽生を実感していただきました。



ぜひ ご来場 ください!

「THE SUPER DRY ART 2005」優秀作品を アサヒビールの全国9つのビール工場に掲出しています。

豊かな創造性を持ち、夢に向かってチャレンジする若いアーティストやクリエー
ターから「スーパードライ」をテーマとしたアート作品を募集する「THE SUPER
DRY ART」を本年も開催。多くの応募作品のなかから優秀作品20作を選出し、8
月1日からアサヒビールの全国9つのビール工場に掲出しています。

掲出期間は工場によって異なりますので、個別にお問い合わせください。

URL <http://www.asahibeer.co.jp/brewery/>
<http://www.asahibeer.co.jp/superdry-art/index.html>



石井 竜也 賞 種田 洋平 賞
タイトル:ビール工場 空へ
制作者:TAKORASU



野口 勉 賞
タイトル:大地、潤う。
制作者:光岡 温

すべては、お客さまの「うまい!」のために。

ビールは“酵母”で造られる。 アサヒ酵母ナンバースーツパック —ビールのおいしさや文化を多くのお客様に提案—



アサヒビールは、ビールのおいしさや文化をご提案する「ビールのおいしさ探求プロジェクト」を立ち上げ、その第一弾として、酵母の違いによる味わいの違いを実感していただける麦

芽100%ビール「アサヒ酵母ナンバー」を発売します。「酵母ナンバー」は、アサヒビールが誇る数百種の酵母バンクのなかから4つの酵母を厳選。醸造工程では、それぞれの酵母の特長を最大限活かした味わいにする麦芽・ホップを使用しています。

ネーミングは酵母の分類番号をストレートに表現した「酵母ナンバー」。パッケージは、おいしさを飲み比べていただくため、4缶アソートパック（詰め合わせ）としました。「酵母ナンバー」の発売にあたっては、お客様アンケートや人気投票を実施します。「ビールのおいしさ探求プロジェクト」は、これらの結果を今後の新商品開発に活かし、ビールのおいしさや文化を多くのお客様に提案していきます。



深い味わいとキレの良さが両立。

318 「スーパードライ」で採用され、まさにビールの流れを変えた酵母。



しっかりしたコクと芳醇な香りが調和した味わい深さ。

787 「本生 ゴールド」で採用され、「リッチ酵母」の愛称で親しまれる酵母。



上面発酵酵母らしいすっきりとした味わい。

920 2005年株主様限定特製ビール（非売品）に採用された酵母。



なめらかな味わいとアロマホップの軽快な香りが調和。

111 この「酵母ナンバー」で初めてデビューする酵母。

平成17年9月21日発売 缶350ml 希望小売価格は設定していません。



「アサヒ 酵母ナンバー」開発担当者

新商品開発第一部 宮崎 賢

“酵母が造るビールのおいしさ”を実感していただきたいという思いから、お客様にわかりやすいように「酵母ナンバー」と名づけました。今回「酵母ナンバー」では新商品開発の新たな取り組みとして、お客様の生の声をいただくためにアンケートや人気投票を実施し、その途中経過は随時ホームページで発表していきます。ぜひ、「酵母ナンバー」でビールのおいしさをお楽しみください。



「アサヒ新爽感チューハイDew（デュー）」 ジンジャーレモン新発売

果実→発酵→新スキリの「アサヒ新爽感チューハイDew（デュー）」から新フレーバーのジンジャーレモンが登場。ジンジャーならではの華やかな香りを活かしつつ、後味はさわやかなレモン風味でスッキリ心地よい“新スキリチューハイ”に仕上がっています。

平成17年9月28日発売 缶350ml/140円（缶500ml/190円もあります）

「ファッション香り紅茶酒」キャラメル&シナモン新発売

フランスの高級食料品として名高いファッション社と共同開発した無炭酸低アルコール飲料です。ファッション社認定茶葉で淹れた紅茶に、キャラメルフレーバーとシナモンをミックス。華やかな香りとほのかな甘みが絶妙で、リラックスしたい時に最適です。



平成17年9月14日発売
缶300ml/160円

「むぎ焼酎かのか」「こめ焼酎かのか」 「本格麦焼酎 豊醇玄海」 25度220mlペットボトル新発売

焼酎人気の高まりのなか多様化するお客様の飲用ニーズにお応えし、「かのか」と「豊醇玄海」から220mlの小容量ペットボトルタイプを新発売しました。



平成17年9月7日発売
「むぎ焼酎かのか」
25度 220ml ペットボトル/208円
「こめ焼酎かのか」
25度 220ml ペットボトル/205円
「本格麦焼酎 豊醇玄海」
25度 220ml ペットボトル/210円

「竹鶴12年ピュアモルト」リニューアル さらにスリムボトルも登場

創業者の名を冠したニッカウヰスキーの中核ブランド「竹鶴12年ピュアモルト」の中味をリニューアルするとともに、660mlスリムボトルを新たに



ラインナップに加えました。豊かに湧き立つモルト香と華やかな香りと深い熟成香、まろやかですっきり飲みやすく爽やかな後味をお楽しみください。

平成17年9月21日発売 660ml/2,450円

「ボージョレ・ヌーヴォ 2005」 「マコン・ヴィラージュ・ヌーヴォ 2005」新発売

フランスで250年以上の歴史を誇るブシャール・エィネ社の「ボージョレ・ヌーヴォ」「ボージョレ・ヴィラージュ・ヌーヴォ」を解禁日である11月17日木曜日に発売。軽い飲み口とソフトな口当たりが楽しめます。また、本年は白ワインの新酒「マコン・ヴィラージュ・ヌーヴォ」を初めて発売します。



平成17年11月17日発売
「ボージョレ・ヌーヴォ 2005」
750ml/2,280円
375ml/1,380円
「ボージョレ・ヴィラージュ・ヌーヴォ 2005」
750ml/2,480円
375ml/1,500円
「マコン・ヴィラージュ・ヌーヴォ 2005」
750ml/2,480円

サントネージュワインの 国産新酒5アイテムを新発売

国産ぶどう100%ワインが注目を集めるなか、サントネージュワインでは2005年に収穫する国産ぶどう100%で醸造したワインを新発売します。今回発売する



平成17年10月28日発売
「スパークリングヌーヴォー ルージュ 2005」
「スパークリングヌーヴォー ブラン 2005」
「スパークリングヌーヴォー ロゼ 2005」
720ml／1,200円

るのは、新酒ではめずらしいスパークリングタイプ3アイテムと、酸化防止剤無添加の2アイテムです。



「酸化防止剤無添加 しぼりたてメルロ 2005」
「酸化防止剤無添加 しぼりたて甲州 2005」
750ml／980円

「ニッカ シードル・ヌーヴォ 2005」 新発売

糖分・香料・着色料を一切加えていないリンゴ100%果実酒の新酒「ニッカ シードル・ヌーヴォ 2005」。9月に収穫されるつがるリンゴから生まれる、この時期にしか味わえないスパークリングワインです。

平成17年9月14日発売 360ml／429円



アサヒ飲料(株)から新たなご提案

コーヒーにミルクを少しブレンド。 ストレートな味わいの缶コーヒー 「ワンダ ストレートカフェ」新発売



厳選したコーヒー豆を直火でじっくり中煎りまで焙煎し、コク深いコーヒーに仕上げました。ミルク分は牛乳のみ使用。コーヒーの美味しさを立たせるため、使用量は控えめにしました。砂糖不使用で、甘くないストレートなコーヒーの美味しさが味わえます。

平成17年10月5日発売 缶190ml／115円

1本でりんご1個。「りんご1日1個」新発売

りんご約1個分の果汁使用、りんご約1個分のポリフェノール含有で、おいしくてカラダにやさしいりんご果汁飲料です。

平成17年10月5日発売 PET500ml／140円



アサヒフードアンドヘルスケア(株)の健康食品

健康生活をサポートするアサヒの健康食品 「ナットウキナーゼ 2000」



「ナットウキナーゼ 2000」は、1日目安量3粒中に納豆1パック(50g)分のナットウキナーゼ(2000FU)を含有したソフトカプセルタイプの健康食品です。健康が気になる中高年の方や納豆の嫌いな方にもおすすめです。また、ビタミンK2を取り除いているため、納豆の摂取を控えていた方にも安心です。PTP包装で携帯性にも優れています。

平成17年7月11日発売 90粒(30日分)／4,000円 1日目安量:3粒

アサヒビールの履歴書

アサヒビールの歴史を6回にわたって、皆様にお伝えします。

～第五話～

「アサヒの森」——森林保全活動



私たちに大きな恵みを与えてくれる地球環境、とりわけビールづくりに欠かせない「水」を生み出す森林資源を将来にわたって育て、守っていくため、アサヒビールは自社で山林(広島県・庄原林業所)を所有し、森林保全活動を長く続けています。

「アサヒの森」は、アサヒビール(株)の前身である大日本麦酒(株)が山林を昭和15年に購入したことに始まります。当時、第二次世界大戦の影響でビールびんの王冠の裏側に使うコルクの輸入停止が懸念され、その対策としてコルクの代替品となるアベマキが自生する山林を購入しました。戦後、アサヒビール(株)庄原林業所とし、自然へ恩返しする思いを込め、この森林を自ら守り、育てていくことを決意。昭和25年頃からスギ・ヒノキの植林を開始しました。

「アサヒの森」では、2,165haという広大な敷地のなかに、アベマキやナラ、ケヤキなど多様な樹木からなる天然林を20%以上残しながら計画的な植林を進めてきました。平成12年に植林を完了し、翌平成13年には世界の代表的な森林認証であるFSC(Forest Stewardship Council:森林管理協議会)のFM(Forest Management:森林管理)認証を取得。現在、アサヒビールはFSCの基準に



沿って森林を管理しており、30年先には、十分に育ったスギやヒノキを毎年、成長した分だけ伐採し、森林資源を維持しながら木材資源として有効利用していく計画です。さらに本年7月、FSCから木材の加工・流通を対象とするCoC(Chain of Custody)認証※を新たに取得し、「アサヒの森」で発生する間伐材の活用を積極的に進めます。

また、アサヒビールの吾妻橋本部ビル1階ロビーに設けた「Asahi Eco Space～ミネルヴァの森」では、「アサヒの森」についてパネル展示などで説明するとともに、間伐材を利用してつくった木製のベンチなどを設け、地域の方々の憩いの場として開放しています。

このほか、アサヒビールは、事業活動においてもさまざまな面から環境保全に取り組み、工場を新設する際には緑地を十分に確保し、またクリーンエネルギーとして期待される風力発電を活用するなど地球環境との共生を図っています。これからもアサヒビールは、森林資源の保全・育成をはじめとする地球環境の保全に力を注いでいきます。

※ FM認証を取得した森林から伐採された木材や木製品が、加工・流通過程において、認証を取得していない森林からの木材と区別して管理されていることを認証する制度

URL アサヒビールの環境保全活動については、ホームページ「Eco Habitat(エコ アビタ)」で詳しくご紹介しています。
<http://www.asahibeer.co.jp/eco-habitat/index.html>

アサヒビールグループ業績のご報告

当中間期の概要

- ビール・発泡酒・新ジャンルにおける課税数量ベースでのシェアは上半期としては4年連続トップとなりました。
- 連結決算では、飲料事業の増収増益やM&Aの成果により、売上高は増収を確保。中間純利益は、過去最高の190億円となりました。

事業別の概況

酒類事業



売上高

4,648億2,100万円
(前年同期比3.6%減)

営業利益

270億6,300万円
(前年同期比23.3%減)

当中間期におけるビール・発泡酒に「その他雑酒②」などの新ジャンルを加えた市場全体の課税数量は、前年同期比2.7%減となりました。



当社はビールでは、「アサヒスーパードライ」の「鮮度」と「うまい!樽生」活動に取り組み、ビール回帰の流れが本格的



なものとなるよう取り組みを強化いたしました。その結果、上半期のビールシェアは課税数量ベースで50%に迫る、過去最高の49.5%となりました。



当中間期の業績

- 売上高 ……6,566億 500万円 (前年同期比 1.3%増)
- 営業利益 ……308億 3,800万円 (前年同期比18.2%減)
- 経常利益 ……319億 2,500万円 (前年同期比11.6%減)
- 中間純利益 ……190億 1,200万円 (前年同期比23.0%増)

発泡酒では、2月に「アサヒ本生ゴールド」を発売するなど、「本生」ブランドのさらなる強化を図りました。
また、その他雑酒②に分類される新ジャンルにおいて、「アサヒ^{しんなま}新生」を4月に発売し、お客様の嗜好の多様化にお応えする新市場創造型のご提案を進めました。

このように積極的な取り組みを進めたものの、市場全体が低迷した影響を受けたことなどにより、当社の課税数量は前年同期比3.3%の減少となりましたが、平成14年以降4年連続の業界トップとなりました。

焼酎では、中核ブランドである「大五郎」や「かのか」の積極的な販売促進策により、売上高は業界平均を大きく上回り、前年同期比9.3%増加いたしました。

低アルコール飲料では「アサヒカクテルパートナー」「アサヒ旬果搾り」のリニューアルや、「フォション 香り紅茶酒」や「アサヒ新爽感チューハイDew (デュー)」の新発売など、新価値の創造に挑戦した結果、売上高は業界平均を上回り、前年同期比6.8%増加いたしました。



洋酒では「ニュー・オールモルト」のリニューアルなど積極的な販売促進策を実施したものの、売上高は市場全体の低迷を受けて、前年同期比4.3%減となりました。

ワインでは、国産ワインはサントネージュ「無添加有機ワイン」の積極的な販売促進策を展開しましたが、輸入ワインの減少などにより、売上高は前年同期比2.5%減となりました。

以上の結果、酒類事業での売上高は前年同期比3.6%減、営業利益は前年同期比23.3%減となりました。

飲料事業



売上高

1,270億5,200万円
(前年同期比32.2%増)

営業利益

30億1,200万円
(前年同期比16.0%増)

飲料事業では、アサヒ飲料(株)が、基幹ブランドである「ワンダ モーニングショット」「ミツ矢サイダー」「アサヒ 十六茶」に加え、新商品「アサヒ緑茶 若武者」「アサヒ SUPER H₂O」に経営資源を集中する販売促進施策を展開いたしました。

飲料事業の売上高はアサヒ飲料(株)の増収に、韓国・ヘテ飲料(株)が連結子会社となったことによる増加分を含め、前年同期比32.2%と大幅に増加し、営業利益も前年同期比16.0%と大幅に増加いたしました。



食品・薬品事業



売上高

119億5,600万円
(前年同期比11.3%増)

営業利益

2億4,100万円
(前年同期比9億6,400万円増)

食品・薬品事業では、アサヒフードアンドヘルスケア(株)が、サプリメント「アクティオ」やバランス栄養菓子「バランスアップ」、ミント系菓子「ミンティア」など主要ブランドの好調な推移や、主力ブランド「エビオス錠」の順調な伸長の結果、売上高は前年同期比11.3%増加し、営業利益は前年同期の営業損失から反転いたしました。



その他事業



売上高

527億7,500万円
(前年同期比10.7%減)

営業利益

7億3,000万円
(前年同期比2.3%減)

その他事業では、主に卸事業の売上が減少した結果、売上高、営業利益ともに減少いたしました。



通期(平成17年12月期)連結業績予想

● 売上高

1兆4,550億円 (前期比 0.7%増)

● 営業利益

1,015億円 (前期比 0.2%増)

● 経常利益

985億円 (前期比 3.0%増)

● 当期純利益

410億円 (前期比34.0%増)

連結財務諸表

連結貸借対照表 (6月30日現在)

科 目	期 別	平成17年度	平成16年度
資産の部			
流動資産		401,722	382,876
現金及び預金		13,431	13,904
受取手形及び売掛金		250,184	243,046
棚卸資産		97,797	96,308
繰延税金資産		20,831	7,109
その他		26,966	31,534
貸倒引当金		△ 7,489	△ 9,027
固定資産		832,406	871,997
有形固定資産		651,039	683,047
建物及び構築物		217,579	225,526
機械装置及び運搬具		193,319	194,992
工具器具備品		50,736	51,278
土地		183,594	203,963
建設仮勘定		5,809	7,287
無形固定資産		14,271	17,494
投資等		167,095	171,455
投資有価証券		110,144	103,824
繰延税金資産		27,820	36,221
その他		41,630	45,254
貸倒引当金		△ 12,501	△ 13,845
資産合計		1,234,128	1,254,874

Point ① グループ総資産を圧縮
金融債務の減少などにより207億円圧縮することで、一層効率的な経営をしております。

(単位:百万円)

科 目	期 別	平成17年度	平成16年度
負債の部			
流動負債		492,211	537,604
支払手形及び買掛金		86,072	73,049
短期借入金		68,046	78,812
1年以内償還社債		20,000	59,997
未払酒税		144,340	145,866
預り金		50,584	64,947
コマーシャルペーパー		1,000	—
その他		122,167	114,932
固定負債		278,986	289,515
社債		120,000	140,000
長期借入金		89,587	79,589
退職給付引当金		28,763	28,898
繰延税金負債		435	487
その他		40,199	40,539
負債合計		771,197	827,119
少数株主持分			
少数株主持分		27,273	20,486
資本の部			
資本金		182,531	182,531
資本剰余金		181,283	181,282
利益剰余金		89,208	62,559
その他有価証券評価差額金		6,261	5,297
為替換算調整勘定		1,256	461
自己株式		△ 24,883	△ 24,863
資本合計		435,658	407,268
負債・少数株主持分及び資本合計		1,234,128	1,254,874

Point ② 金融債務残高が減少
当中間期末の金融債務残高は前期比598億円減少の2,986億円と大幅に減少いたしました。

連結損益計算書 (1月1日～6月30日)

科 目	期 別	平成17年度	平成16年度
売上高		656,605	648,105
売上原価		437,707	438,709
売上総利益		218,897	209,395
販売費及び一般管理費		188,059	171,674
営業利益		30,838	37,721
営業外収益		4,904	2,774
受取利息及び配当金		878	1,110
持分法による投資利益		1,697	—
連結調整勘定償却額		925	824
その他		1,403	839
営業外費用		3,817	4,367
支払利息		2,031	1,998
持分法による投資損失		—	300
その他		1,785	2,069
経常利益		31,925	36,128
特別利益		6,954	1,946
固定資産売却益		4,041	71
その他		2,913	1,874
特別損失		5,474	3,363
固定資産売却・除却損		4,045	2,148
その他		1,429	1,214
税金等調整前中間純利益		33,405	34,711
法人税、住民税及び事業税		13,803	18,708
少数株主損益		588	539
中間純利益		19,012	15,462

Point ③ 連結中間純利益が36億円増加
当中間期末の連結中間純利益は特別損失の固定資産売却益などによる改善や、アサヒビール㈱の法人税等の減少により、36億円増加いたしました。

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結キャッシュフロー計算書 (1月1日～6月30日) (単位:百万円)

科 目	期 別	平成17年度	平成16年度
Ⅰ 営業活動によるキャッシュフロー			
税金等調整前中間純利益		33,405	34,711
減価償却費		24,797	25,316
退職給付引当金の増減額		△ 335	△ 873
貸倒引当金の増減額		△ 2,304	△ 1,813
固定資産売却除却損		4,045	2,148
未払酒税の増減額		△ 4,297	△ 850
その他		6,081	△ 864
小計		61,392	57,775
利息及び配当金の受取額		898	1,195
利息の支払額		△ 1,981	△ 2,062
法人税等の支払額		△ 23,629	△ 19,973
営業活動によるキャッシュフロー		36,681	36,934
Ⅱ 投資活動によるキャッシュフロー			
有形固定資産の取得による支出		△ 21,305	△ 19,257
投資有価証券の取得による支出		△ 11,795	△ 38,188
その他		5,975	8,521
投資活動によるキャッシュフロー		△ 27,126	△ 48,923
Ⅲ 財務活動によるキャッシュフロー			
短期借入金の増減額		24,153	8,107
長期借入金の増減額		△ 944	21,724
社債の発行による収入		—	10,000
社債の償還による支出		△ 29,997	△ 17,696
自己株式の取得による支出		△ 21	△ 6,839
配当金の支払額		△ 3,639	△ 3,193
その他		309	2,275
財務活動によるキャッシュフロー		10,139	14,378
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額			
換算差額		276	△ 160
Ⅴ 現金及び現金同等物の増減額		△ 307	2,228
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高		13,657	11,561
Ⅶ 連結範囲の変更による現金及び現金同等物の増減額		—	9
Ⅷ 現金及び現金同等物の期末残高		13,349	13,799

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸借対照表 (6月30日現在)

科 目	期 別	
	平成17年度	平成16年度
資産の部		
流動資産	299,637	309,776
現金及び預金	2,652	4,197
受取手形及び売掛金	188,447	195,048
棚卸資産	42,865	41,882
短期貸付金	44,593	57,023
繰延税金資産	17,527	5,956
その他流動資産	12,278	16,077
貸倒引当金	△ 8,727	△ 10,409
固定資産	697,288	748,189
有形固定資産	508,452	526,496
建物	142,751	151,625
機械及び装置	161,566	165,452
土地	130,001	132,521
その他	74,133	76,898
無形固定資産	8,957	12,318
投資その他の資産	179,877	209,374
投資有価証券	55,739	55,466
関係会社株式・出資金	77,311	79,414
繰延税金資産	13,856	19,503
その他の投資等	44,554	69,323
貸倒引当金	△ 11,584	△ 14,333
資産合計	996,925	1,057,965

(単位:百万円)

科 目	期 別	
	平成17年度	平成16年度
負債の部		
流動負債	369,525	431,850
支払手形及び買掛金	49,090	42,557
短期借入金	36,000	43,000
社債(1年以内償還予定)	20,000	59,997
未払酒税	134,954	135,969
預り金	59,811	77,290
コマーシャルペーパー	1,000	—
その他流動負債	68,669	73,034
固定負債	211,506	230,858
社債	120,000	140,000
長期借入金	46,500	45,500
長期預り金	33,992	33,028
退職給付引当金	10,644	12,022
役員退職慰労引当金	369	308
負債合計	581,031	662,708

資本の部

資本金	182,531	182,531
資本剰余金	190,292	190,291
資本準備金	130,292	130,292
その他資本剰余金	60,000	59,999
利益剰余金	61,908	42,323
任意積立金	42,402	22,606
中間未処分利益	19,506	19,716
株式等評価差額金	6,044	4,974
自己株式	△ 24,883	△ 24,863
資本合計	415,893	395,257
負債及び資本合計	996,925	1,057,965

Point ① 単体の総資産を圧縮

アサヒビール(株)単体の総資産を610億円圧縮いたしました。

Point ② 単体の金融債務残高が減少

アサヒビール(株)単体の金融債務残高は、前年同期比650億円減少し、2,235億円となりました。

損益計算書 (1月1日～6月30日)

科 目	期 別	
	平成17年度	平成16年度
売上高	479,432	501,967
売上原価	344,396	362,653
売上総利益	135,035	139,313
販売費及び一般管理費	108,507	104,132
営業利益	26,527	35,180
営業外収益	2,034	1,778
受取利息及び配当金	1,419	1,404
雑収入	615	373
営業外費用	2,339	2,806
支払利息	1,157	1,455
雑損失	1,181	1,351
経常利益	26,223	34,152
特別利益	2,752	1,828
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	66	1
関係会社株式売却益	297	8
貸倒引当金戻入益	2,386	1,816
特別損失	4,201	2,642
固定資産売却除却損	3,654	1,202
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	228	162
関係会社株式評価損	317	1,277
税引前中間純利益	24,773	33,338
法人税、住民税及び事業税	10,452	17,776
中間純利益	14,321	15,562
前期繰越利益	5,185	4,154
中間未処分利益	19,506	19,716

(単位:百万円)

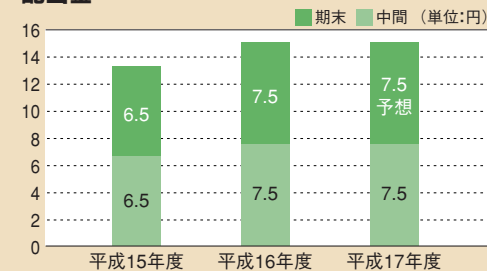
Point ③ 固定資産売却除却損の増加の理由は？

効率的な経営を行うための総資産圧縮策の一環として、土地などの不動産を売却したことによる損失を計上したためです。

1株当たり情報 当中間期(単体)

	平成17年6月 中間期	平成16年6月 中間期
中間純利益	29円51銭	31円94銭
配当金	7円50銭	7円50銭
株主資本	857円05銭	814円51銭

配当金



自己株式の消却のお知らせ

当社は平成17年8月5日開催の取締役会において、商法第212条の規定に基づき、自己株式の消却を決議し、平成17年8月19日に消却いたしました。

●消却した株式の種類:当社普通株式

●消却する株式の数: 2,000万株
(消却前発行済株式総数に対する割合3.89%)

当社は自己株式の取得を株主還元の重要な施策の一つと認識しております。
今回の自己株式の消却により、自己株式が市場に再び放出され、株主価値の希薄化につながるのではないかという投資家の皆様の懸念を払拭できるものと考えます。



ふれあい広場

「アサヒふれあい広場」は、各種キャンペーン、イベントのご案内や株主様アンケートの集計結果をご紹介します。

キャンペーン情報

アサヒビールは、消費者向けキャンペーンを多数実施しています。皆様のご応募をお待ちしています。

「アサヒ本生でスッキリ爽快!キャンペーン」

- 応募期間
～平成17年11月21日(月)
当日消印有効
- 賞品
抽選で10,000名様に「サイクロン式コードレス本生クリーナー」が当たります。
- 応募方法
6缶パックに印刷された専用応募ハガキでご応募ください。
- お問い合わせ先
キャンペーン事務局
☎0120-188-588



アサヒ新生 「新生タンク みんなで飲みほそう!キャンペーン」

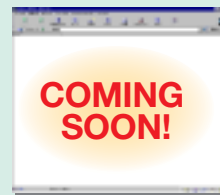
- 応募期間
平成17年9月12日(月)～平成17年10月31日(月)
当日消印有効
- 賞品
抽選で50,000名様に「新生ミニタンク」(缶350ml×28缶)をプレゼントします。
- 応募方法
応募シール3枚1口でご応募ください。
- お問い合わせ先
キャンペーン事務局
☎0120-220-261



このほか、「大五郎 魚沼産コシヒカリ10kgプレゼントキャンペーン」「焼酎かのか 味の贈り物キャンペーン」も実施中です。奮ってご応募ください。

アサヒビールのホームページをリニューアル!

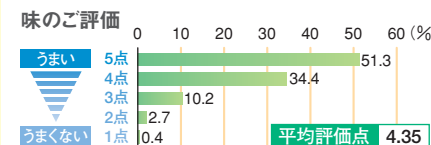
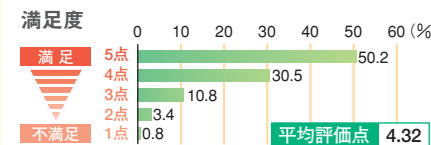
すべてのお客様にアサヒビールグループをより知っていただくために、今秋、ホームページをリニューアルする予定です。コンテンツをわかりやすく整理し、使い勝手をさらに向上させます。新しくなるホームページも、ぜひご利用ください!



アンケートの集計結果

株主様ご優待品の贈呈時に実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。今回は、12,000名もの株主様からご回答をいただきました。ありがとうございます。

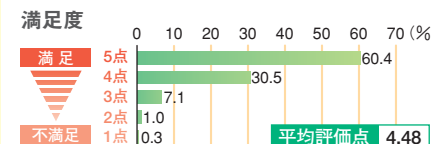
株主様限定特製ビール



ご意見・ご感想

- このような企画は今後もやってもらいたい。家族で夕食時、ビールで盛り上がりました。
- とても楽しみにしています。両親も特製ビールを飲んで、「おいしい」といって、笑顔になります。今後も期待しています。
- 今後ともぜひ続けてください。大変おいしくいただきました。がんばれ!アサヒ!
- とてもおいしい!!アサヒビールの株主でよかったと至福の思いでいます。
- この酵母を使ったビールを新商品として市場に出してはいいかですか。
- 非売品を飲んだという優越感に満足した。友人にも1缶プレゼントし、アサヒビールの株主優待の話をした。
- このビールが飲みたくて、夫婦とも株主になりました。

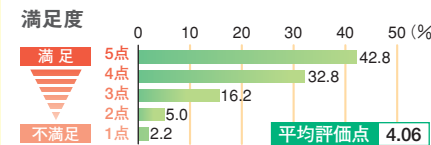
酒類商品詰め合わせ



ご意見・ご感想

- いつもスーパードライを愛飲していますが、こんなに多くの種類のお酒があることを知りました。
- 商品を通じてアサヒビールの商品開発にける熱意が伝わるような気がしました。
- 自分が投資している会社の商品がよくわかり、それがまた会社のためになるから、大変喜ばしい。
- いろいろなアサヒビールの商品が入っていて、初めて飲むものもあり、今後購入する時の参考になり、楽しませていただきました。

グループ商品詰め合わせ



ご意見・ご感想

- エビオス錠がアサヒビールグループの商品であることを初めて知りました。
- 今回の優待品は最高!普段何気なく買っていた「バランスアップ」や「ミンティア」がアサヒビールグループ商品と改めて知ることでもでき、また清涼飲料水がたくさん届いたので私も子供たちも大喜びでした。
- 家族みんなで楽しめる詰め合わせで大満足です。

アサヒビール環境基金「水の惑星」への寄付を選択していただいた株主様は約1,000名、寄付金は160万円近くになりました。ありがとうございました。

編集後記

一昨年新設した株主優待制度。実施2年目の本年も、多くの株主の皆様からうれしいご意見をいただきました。対象の株主様には次回の株主優待のご案内を来年3月にお送りする予定です。皆様からいただいたご意見・ご感想を参考に、さらに株主の皆様にご満足いただけるよう企画いたします。ぜひご期待ください。

会社概要
(平成17年6月30日現在)

商 号	アサヒビール株式会社 (ASAHI BREWERIES, LTD.)
本店所在地	〒104-8323 東京都中央区京橋三丁目7番1号
設 立	昭和24年9月1日
資本金	182,531,194,085円
従業員数	3,593名 (65名)
※従業員数は就業人員であり、当社への出向者(270名)を含み、関係会社への出向者を除いています。なお、臨時従業員数は()に期中平均人員を外数で記載しています。	
会計監査人	あずさ監査法人 (東京都新宿区津久戸町1番2号)

役員
(平成17年6月30日現在)

代表取締役会長	福地 茂雄		
代表取締役社長	池田 弘一		
専務取締役 兼 専務執行役員	後藤 義弘	岡田 正昭	
専務取締役	大原 清明		
常務取締役	西野 伊史	泉谷 直木	川村 光
取締役	山口 信夫	岡本 行夫	野中 ともよ
常勤監査役	西川 菅雄	藤田 博	
監査役	櫻井 孝穎	中村 直人	石崎 忠司
【執行役員】			
専務執行役員	藏口 勝	高橋 正哲	
常務執行役員	大澤 正彦	石橋 英行	岩崎 次弥
	佐々木 修	亀野 正徳	富永 寿郎
	吉岡 信一	石井 敏史	富田 義人
執行役員	本山 和夫	二宮 裕次	松延 章
	高橋 成公	三谷 昌	名倉 伸郎
	三宅 雅人	山崎 史雄	羽田 茂
	岩上 伸	仁平 進	高橋 修
	戸倉 政雄	小井 薫	谷口 憲二
	川面 克行	杉浦 誠	神津 和民
	高橋 周		

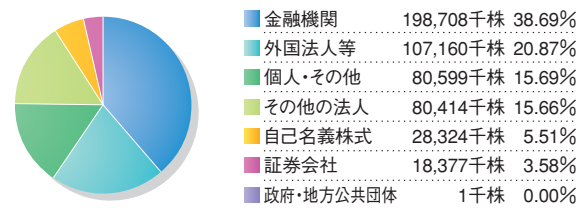
株式の状況
(平成17年6月30日現在)

発行済株式総数	513,585,862株
当中間期末株主数	107,026名 (前期末比6,878名増)
大株主 (上位10名)	

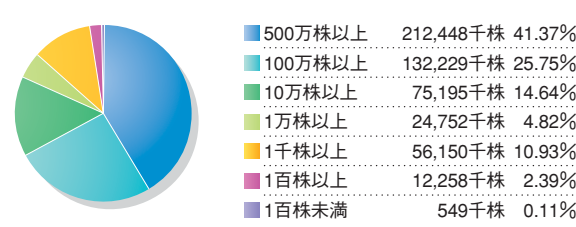
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	32,663	6.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	27,756	5.4
旭化成株式会社	18,785	3.7
第一生命保険相互会社	17,920	3.5
富国生命保険相互会社	16,883	3.3
野村證券株式会社	15,953	3.1
株式会社三井住友銀行	9,028	1.8
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505103	7,334	1.4
住友生命保険相互会社	7,090	1.4
株式会社みずほコーポレート銀行	6,944	1.4
合計	160,359	31.2

(注) 当社は自己株式を28,324千株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

所有者別株式分布



所有株式数別株式分布



株主メモ

名義書換代理人が変更になりました。詳しくは同封のご通知をご覧ください。

決 算 期	12月31日
定 時 株 主 総 会	3月
利益配当金支払株主確定日	12月31日
中間配当金支払株主確定日	6月30日
1 単 元 の 株 式 の 数	100株
名 義 書 換 代 理 人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物の送付先）	〒183-8701
（お よ び 連 絡 先）	東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

住所変更等用紙のご請求

- ☎ 0120-175-417
- ・オペレーター対応※（平日9:00-17:00）
- ・自 動 音 声 対 応 （平日上記時間帯以外及び土・日・祝日）
- ※オペレーター対応が混み合っている場合、自動音声対応となることがございます。

その他のご照会

- ☎ 0120-176-417
- ・オペレーター対応 （平日9:00-17:00）

（ ウ ェ ブ サ イ ト ）
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

・住所変更等用紙のご請求（8:00-翌3:00）

同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国本支店
	大 和 証 券 株 式 会 社 全国本支店
	日本証券代行株式会社 全国本支店

公 告 掲 載 新 聞
東京都において発行する日本経済新聞
ただし、決算公告に代えて貸借対照表及び損益計算書をインターネット上の当社ウェブサイトに掲載しています。
<http://www.asahibeer.co.jp/ir/koukoku.html>

株式事務のお問い合わせはこちら

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書・買増請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、**住友信託銀行**にて、お電話ならびにインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

なお、証券保管振替機構（ほふり）をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



I N F O R M A T I O N

株主の皆様へお知らせ

**個人投資家の皆様への情報サイト
「アサヒサポーターひろば」を開設しています。**



「アサヒサポーターひろば」は、アサヒビールの企業活動に共感し、応援して
くださる皆様に対して、株式投資に関する情報を発信しています。アサヒビー
ルの最新トピックスや業績、株主優待に関する情報もここにアクセスすれば、
いつでもご覧になれます。ぜひご活用ください。

 <http://www.asahibeer.co.jp/ir/supporter/>

✉ 投資家情報ページの更新や、新商品の発表、ニュースリリースなどを
タイムリーにお知らせするメールニュースも配信しています。

ご登録はこちらから ▶ <http://www.asahibeer.co.jp/ir/mail/index.html>

アサヒビール株式会社
<http://www.asahibeer.co.jp>

お問い合わせは「お客様相談室」まで
☎0120-011121



生分解性に優れたアロマフリー型
再製大豆油インキで印刷しています。